

令和7年度 自己評価・学校関係者評価書

認定こども園中央幼稚園

1 幼稚園の教育目標

正しく（良い事、悪い事の判断を身につけよう。悪いと思う事をしない勇気を持とう。）
強く（心身ともにたくましくなろう。）
仲良く（親、兄弟、友だちを思いやり、感謝し、仲良く生活しよう。）

2 本年度の重点課題（学校評価の具体的な目標や計画）

従来大切にしてきた保育の残すべき部分と時代に合わせて改革を進めていく部分を職員間でよく話し合い見極め、園児の成長や社会情勢に合わせた保育を取り入れられるようにしていく。

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由	関係者評価
① 保育の計画性	3.88	保育は計画的に行われ、適切に見直しや園児の実態に合わせた修正が行われている。今後は園児が主体的に関われるような保育をより増やしてほしい。	3.8
② 保育のあり方 幼児への対応	3.93	体調の変化等に対する対応は迅速に行うことができている。不適切保育に当たるような言動に注意し保育を進めて頂きたい。	3.7
③ 教師として資質 能力、適正等	3.91	チャットやスプレッドシートを良く活用し情報共有する事ができていた。引き続き健康や身だしなみの管理もきちんと行って頂きたい。	3.8
④ 保護者への対応	3.96	保護者からの要望や相談をすぐに報告し職員間で話し合い、迅速な対応が出来ている。引き続き保護者や園児が安心・安全に過ごせるよう配慮して頂きたい。	3.9
⑤ 地域の自然や地域との関わり	3.65	引き続き未就園児向けのイベントやお誕生日会を定期的に行い、保護者の子育てに関する相談にのることが出来ていた。	3.6
⑥ 研修と研究	3.63	今後も各職員が各自興味のある研修に参加し、専門的な知識や新たな情報を取り入れ、保育に活かして頂きたい。	3.7

4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

1. 幼保連携型認定こども園に移行し 9 年目で運営は安定して行われている。今年度は今まで大切にしてきた保育を園児の現状や時代の変化、教職員の実態に合わせて見直していくべきであるとの議題も多く取り上げられた。まだ改革途中ではあるが、伝統的な部分と時代に合わせた先進的な部分を上手く融合し、園児や保護者にとっても、働く教職員にとっても良い方向へ進められるよう引き続き教職員間でよく話し合ってもらいたい。また、引き続き園児が安全な環境の元、安心して園生活を送れるよう職員間での情報共有や意思疎通に努めていきたい。

5 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育者としての姿勢 (職員同士の協力・連携)	引き続き社会情勢を絶えず捉えながら、園児の現状を把握し、教職員間でお互いに意見交換し合える雰囲気作りをしていく。子ども達の安心・安全を第一に考えながら、時代に合わせて見直すべき所や新たに組みたい事などを積極的に意見交換し、実践に取り入れていく。保護者にも安心して預けて頂けるよう職員間の情報伝達の徹底、園内研修等に力を入れていく。

6 学校関係者評価委員会からのコメント

認定こども園 9 年目となり運営や保護者への対応は安定し問題ないと感じられました。今年度は昨年理事長（副園長先生）がご逝去された後、まだ職員間に不安や混乱があった事と思いますが園長先生、事務長先生の指導の下、副園長先生の意志を継ぎ職員で団結して保育に取り組む姿が見られました。今年度はより今までの保育の在り方を見直す時期に来ていると感じられましたが園児の実態や社会情勢に合わせ、教職員でよく話し合い、協力して保育を進めて頂きたいと思います。近年は保護者の要望や相談内容も細かくなっていると感じられる為、教職員間の意思疎通や情報共有に重点を置き、一致団結して園を盛り立てて頂きたいと思います。今後も「子どもたちの未来のために」を合言葉に充実した保育の提供を宜しく願います。